

# かわさき市政カレンダー

(2020年1月~12月)

## 1月

### 横浜市営地下鉄ブルーラインの延伸

#### 「あざみ野～新百合ヶ丘」概略ルート・駅位置が決定

平成31(2019)年1月に横浜市高速鉄道3号線の延伸(あざみ野～新百合ヶ丘)が決定していたが、川崎市側のルートについて、ヨネツティー王禅寺付近を通るルートを選定し、概略ルート・駅位置について、川崎市及び横浜市で合意した。

### 第73回アメフト日本選手権で

#### 富士通フロンティアーズ4連覇

かわさきスポーツパートナーの「富士通フロンティアーズ」が、社会人アメリカンフットボールの頂点を決定する「JAPAN X BOWL」で優勝し、1月3日に5度目の出場となったライスボウル(日本選手権)で学生チャンピオンの関西学院大学ファイターズと対戦して見事に勝利。ライスボウル4連覇を達成し、4年連続5回目の日本一に輝いた。

## 2月

### 多摩川サイクリングコースの愛称が

#### 「かわさき多摩川ふれあいロード」に決定

歩行者も自転車も安心安全に利用できるコースを目指して、「多摩川サイクリングコース」及び「多摩川河口青少年サイクリングコース」の愛称が「かわさき多摩川ふれあいロード」に決定した。

## 3月

### 川崎市立全175校、コロナ対策で臨時休校

新型コロナウイルス感染症等への対応として、文部科学省から「新型コロナウイルス感染症対策のための小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における一斉臨時休業について」が示され、川崎市立全175校が3月4日から5月31日まで臨時休校となった。

### 京急大師線「産業道路駅」が「大師橋駅」に駅名変更

「産業道路駅」の新しい駅名として、川崎と大田区を結ぶ架け橋であり、周辺のシンボル、川崎市へのゲートウェイとして重要な基幹拠点となっている「大師橋」からネーミングし、「大師橋駅」に変更した。

## 4月

### 川崎じもと応援券の発行を発表

新型コロナウイルス感染症の影響により売上が大幅に減少している飲食店や生活関連サービス等における消費を促し、市内での循環を図ることで早期の経済回復を目的とし、緊急経済対策として「川崎じもと応援券」を発行することを発表した。6月に第1次販売申込みの受付を開始し、10月の第3次販売にて、販売予定数量を完売した。

## 5月

### 特別定額給付金の申請受付を開始

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に基づく特別定額給付金の申請受付を開始するとともに、市民からの問い合わせに対応するため「川崎市特別定額給付金コールセンター」を開設した。申請受付は8月31日に終了し、給付対象約76万3,000世帯に対し、約75万7,000件の申請があった。

### 「メッセージfor Kids川崎の子どもたちへ」実施

子どもたちが将来のことや自分の夢を考え、見つけるきっかけとなるよう、さまざまな分野で活躍する、川崎ゆかりの有名人やプロフェッショナルから子どもたちへの応援メッセージ動画を市ホームページで公開した。

## 6月

### 北朝鮮拉致被害者

#### 横田めぐみさんの父・滋さん逝去

北朝鮮拉致被害者横田めぐみさんの父横田滋さんは40年以上にわたりめぐみさんの帰国を願い活動

を続けていたが、6月5日にご逝去された。

## 7月

### 市内初の水族館「カワスイ 川崎水族館」オープン

7月17日に市内初の水族館がオープンした。駅前商業施設と一体になっている水族館は日本初。世界中の水辺を再現したエンターテインメント性の高い空間や、多摩川の生態系をより深く知ることができる内容となっている。

### 「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」を全面施行

全ての市民が不当な差別を受けることなく、個人として尊重され、生き生きと暮らすことができる人権尊重のまちづくりを推進していくため、令和元(2019)年12月に制定、一部施行されていた「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」が全面施行された。

### 川崎市パートナーシップ宣誓制度を創設

性的マイノリティ当事者が抱える生きづらさを解消するため、当事者自身が人生のパートナーであることを宣誓し、その宣誓の事実を公的に認める「川崎市パートナーシップ宣誓制度」を7月1日に創設した。

## 8月

### 新型コロナウイルス感染症により修学旅行中止の小学6年生を対象によみうりランド貸し切りを発表

毎年日光に行っていた、小学6年生の修学旅行が中止になったことから、それに代わる思い出づくりのイベントとして、3月の卒業式前の3日間、よみうりランドを貸し切り、小学6年生約1万2千人を招待することとした。

## 9月

### 川崎市と川崎ブレイブサンダース、SDGsに関する協定締結

川崎市と株式会社DeNA川崎ブレイブサンダースは、地域の課題解決や持続可能なまちづくりの実現に向け、相互連携、協力することを目的とした協定書を締結した。バスケットボールを通じて市民の

健康づくりや働きがいの機会創出等に取り組むことで、SDGsの推進に資することを目的に、相互に連携、協力することとした。

## 10月

### 日本最大級のハロウィンイベント

#### 「カワサキハロウィン2020」初のオンラインで開催

今年で24回目となるカワサキハロウィンのテーマを「電脳仮想空間」とし、全国、世界中から仮想動画を募集した。初めて完全オンラインにて開催し、オンラインだからこそ実現できる「新しいハロウィンのカタチ」を全世界に発信した。

## 11月

### 川崎フロンターレ、

#### 明治安田生命J1リーグ優勝 2年ぶり3回目

川崎フロンターレが2020明治安田生命J1リーグ戦において、史上初めて4試合を残して2年ぶり3回目となる優勝を決めた。勝ち点や総得点など多くのリーグ記録を更新する圧倒的な強さで、市民に大きな勇気と元気をもたらした。

### 脱炭素戦略

#### 「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定

令和元年東日本台風(台風第19号)では川崎市でも多大な被害が発生するなど気候変動問題は差し迫った課題であり、地球温暖化対策の取り組みを加速化させ、具体的な取り組みを実践するために、脱炭素戦略(かわさきカーボンゼロチャレンジ2050)を策定した。

## 12月

### 中村憲剛選手へ市民栄誉賞

川崎フロンターレに18年間所属し、クラブの成長とともに活躍を続け、地域貢献活動にも積極的に取り組んで来られたことを称え、中村憲剛選手に市民栄誉賞が贈呈された。化学者の藤嶋昭さん、パラリンピック水泳競技の金メダリストの成田真由美さんに続く史上3人目の市民栄誉賞受賞となる。